

愛称：リそな ペア・ハイ インカム

アムンディ・米国・ユーロ高利回り債ファンド

追加型投信／海外／債券

第 39 作成期

第228期 (決算日 2023年4月12日)

第229期 (決算日 2023年5月12日)

第230期 (決算日 2023年6月12日)

第231期 (決算日 2023年7月12日)

第232期 (決算日 2023年8月14日)

第233期 (決算日 2023年9月12日)

作成対象期間 (2023年3月14日～2023年9月12日)

第233期末 (2023年9月12日)	
基準価額	4,638円
純資産総額	3,706百万円
第228期～第233期	
騰落率	11.1%
分配金 (税込み) 合計	120円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。

当ファンドは、原則として、米国のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券「TCWファンズ・TCW ハイイールド・サステナブル・ボンド・ファンド」および欧州のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券「Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド」に投資を行い、中長期的な信託財産の成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。投資信託証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。また、投資信託証券への投資にあたっては、分散投資を行うことを基本とします。当ファンドの投資対象である投資信託証券において、銘柄分散および企業調査や分析によって個別銘柄の信用リスクを低減するように努めます。原則として、為替ヘッジは行いません。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

【閲覧方法】

- 右記<お問い合わせ先>に記載されているホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」メニューから「ファンド・基準価額一覧」(当ファンドが償還した場合は「償還ファンド一覧」)をクリック⇒当該一覧から当ファンドのファンド名称をクリック⇒運用報告書(全体版)をクリック
- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号

<お問い合わせ先> お客様サポートライン：050-4561-2500

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

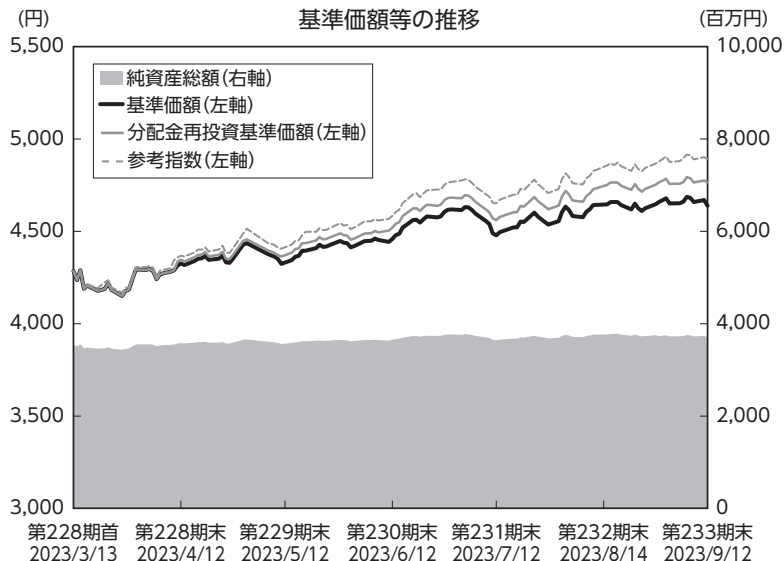
ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

<3130738・3151452>

運用経過

基準価額等の推移

第228期首	4,286円
第233期末	4,638円
既払分配金 (税込み)	120円
騰落率	11.1% (分配金再投資ベース)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 参考指数は、ブルームバーグ・USコーポレート・ハイ・イールド・インデックス2%イシューアード・キャップ+ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index (BB-B) です。

(注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2023年3月13日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ① 作成期を通じて、米国および欧州のハイイールド債市場がおおむね堅調となったこと
- ② 作成期を通じて、円安・米ドル高およびユーロ高傾向となったこと

下落要因

- ① 5月頃に、米国ハイイールド債市場が軟調となった場面があったこと
- ② 7月頃に、円高・米ドル安およびユーロ安傾向となった場面があったこと

1万口当たりの費用明細

項 目	第228期～第233期 (2023年3月14日 ～2023年9月12日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a)信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	23円 (5) (17) (1)	0.522% (0.110) (0.385) (0.027)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)その他費用 (監査費用) (その他)	0 (0) (0)	0.006 (0.005) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	23	0.528	
期中の平均基準価額は4,488円です。			

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

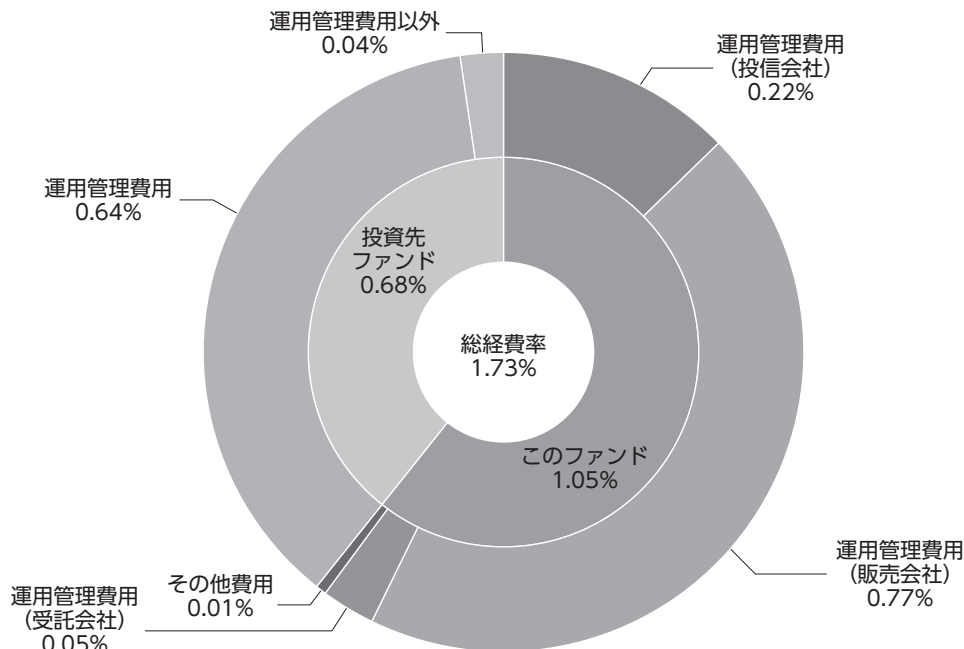
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

● 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



総経費率 (①+②+③)	1.73%
①このファンドの費用の比率	1.05%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.64%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

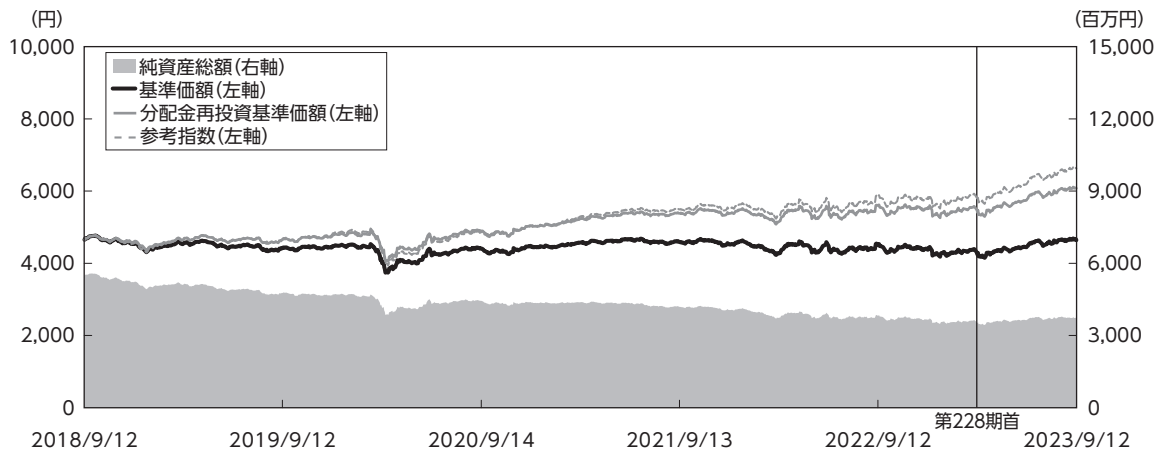
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年9月12日～2023年9月12日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 参考指数は、ブルームバーグ・USコーポレート・ハイ・イールド・インデックス2%イシュー・キャップ+ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index (BB-B) です。

(注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年9月12日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2018/9/12 期首	2019/9/12 決算日	2020/9/14 決算日	2021/9/13 決算日	2022/9/12 決算日	2023/9/12 決算日
基準価額(円)	4,653	4,415	4,392	4,579	4,509	4,638
期間分配金合計(税込)(円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	0.1	5.2	9.9	3.9	8.6
参考指数騰落率(%)	—	0.4	4.1	13.0	6.6	13.1
純資産総額(百万円)	5,492	4,757	4,420	4,177	3,815	3,706

(注1) 参考指数は、ブルームバーグ・USコーポレート・ハイ・イールド・インデックス2%イシュー・キャップ+ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index (BB-B) です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。

(注2) 「Bloomberg®」およびブルームバーグ・USコーポレート・ハイ・イールド・インデックス2%イシュー・キャップは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited (以下「BISL」)をはじめとする関連会社(以下、総称して「ブルームバーグ」)のサービスマークであり、アムンディ・アセットマネジメントによる特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはアムンディ・アセットマネジメントとは提携しておらず、また、アムンディ・米国・ユーロ高利回り債ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、アムンディ・米国・ユーロ高利回り債ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index (BB-B) は、ICE Data Indices, LLC、その関係会社(ICE Data)および/又はその第三者サプライヤーの財産であり、アムンディ・ジャパン株式会社による使用のためにライセンスされています。ICE Dataおよびその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。免責条項の全文については、<https://www.amundi.co.jp/fund/100009.html>をご参照ください。

投資環境

〈米国ハイイールド債市場〉

当作成期は、高水準の金利と米国の中堅銀行の破綻という状況のなか、投資家は金融システムや、今後の経済の見通しへの懸念を抱きました。しかしながら、当局による素早い対応を受けて、金融セクターの混乱による影響は後退しました。インフレ率は低下基調となり、経済指標は底堅さを示しました。こうした状況を背景に、5月と7月のFOMC（米連邦公開市場委員会）では利上げが決定され、市場ではFRB（米連邦準備理事会）が利下げに転じる時期の織り込みを後退させました。このような環境下、米国ハイイールド債市場は、堅調な経済指標を受けた金融引き締め長期化観測などが金利上昇（債券価格は下落）圧力となり下落する場面もありましたが、その後の利上げ継続観測の後退や米国経済のソフトランディングへの期待、長期金利の低下（債券価格は上昇）などを材料に、おおむね上昇基調となりました。

〈欧州ハイイールド債市場〉

当作成期初は、米国の中堅銀行の破綻を受けて、金融システムへの懸念が高まりました。こうした中、クレディ・スイス・グループの経営危機も、金融市場にマイナスの影響をおよぼしました。スイス国立銀行の支援と、その後のUBSによる買収で事態は落ち着きましたが、クレディ・スイス・グループのAT1（その他Tier1）債が、株式とは異なり全額き損となったことをきっかけに、他の金融劣後債のスプレッド（利回り格差）へ影響をおよぼしました。しかしながら銀行セクターへの懸念が連鎖を起こすことはありませんでした。実際、発行体のファンダメンタルズ（基礎的条件）は、第1四半期の決算結果は概して予想を上回りました。7月の中国の経済指標は大きなサプライズとなり、こうした景気減速が欧州に影響する可能性が高まりました。これにより8月中旬にスプレッドはわずかに拡大しましたが、その後スプレッドは縮小しました。当作成期、国債利回りは上昇（国債価格は下落）、クレジットスプレッドは縮小しました。

〈為替市場〉

当作成期の為替市場では、米ドルは134円台、ユーロは143円台でスタートしました。米ドル/円相場は、米国の中堅銀行の破綻やスイス金融大手の経営不安のニュースに金融システム不安が広がると、質への逃避などから円が買われる動きとなりましたが、金融システム不安が後退すると米ドルは買い戻されました。日銀が金融緩和維持の姿勢を明確に示したことも円安圧力となり、米ドルは強含みの展開が続きました。7月に入り米国のインフレ圧力の低下や米国の景気後退懸念、さらには金融当局による市場介入に対する警戒感や、日銀による金融政策修正への思惑が広がり、円が反発する場面もみられました。しかし、日銀による長期金利操作の柔軟化を受けても日本の長期金利は大きく上昇せず、一方で米国では再びインフレ懸念の台頭や長期金利の上昇がみられ、米ドルは再び上昇に転じ、その勢いを維持し146円台で当作成期末を迎えました。ユーロ/円相場は、作成期初はグローバルな金融不安から大きく乱高下し、ユーロは140円まで下落した場面もみられました。その後はECB（欧州中央銀行）の利上げによる日米短期金利差の拡大を背景にじりじりと上昇し、8月には159円に達しました。作成期末にかけては158円前後でもみ合い、157円台で当作成期末を迎えました。

ポートフォリオ 〈当ファンド〉

当ファンドは、主として、米国のハイイールド債市場へ投資する「TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・サステナブル・ボンド・ファンド」と欧州のハイイールド債市場へ投資する「Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド」の毎月分配クラスに投資を行い、中長期的な信託財産の成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行いました。TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・サステナブル・ボンド・ファンドとAmundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンドの二つのファンドにほぼ均等に分散投資を行いました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

〈TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・サステナブル・ボンド・ファンド〉

当作成期、市場では経済状況について過度に楽観的な見通しを反映しているとみられ、ディフェンシブな姿勢を維持しました。F R Bによる利上げと融資基準の厳格化の影響が経済を左右するみられ、将来的なボラティリティ（価格変動性）の影響を受けにくいと考えられるセクターなどに焦点を当てました。景気循環型消費財関連などをアンダーウェイトしていたことや比較的格付の高い銘柄を重視していたことなどが足かせとなった一方、コミュニケーション・サービスなどは良好なパフォーマンスとなりました。

(TCWインベストメント・マネジメント・カンパニー)

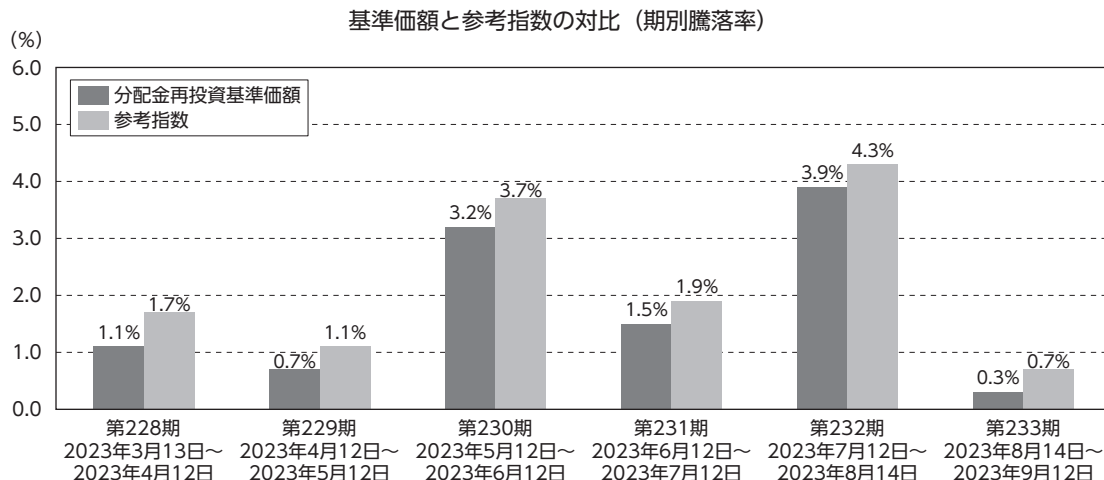
〈Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド〉

当作成期は、クレジット・エクスポージャーを中立からややポジティブに保ち、欧州の景気後退ではなく低成長のシナリオを反映させました。業績悪化のリスクを鑑み、低格付のポジションを限定的にしました。不動産、消費財、化学品のセクターよりも金融、電気通信サービス、景気循環のセクターを 선호しました。金利リスクに関してはベンチマークと同程度を維持しました。銀行のAT1債へのエクスポージャーは、当作成期、クレディ・スイス・グループの経営危機の後には当ファンドのパフォーマンスをけん引したものの、同危機において金融、特に銀行のAT1債が被ったマイナスの影響を相殺するには至りませんでした。

(アムンディ・アセットマネジメント)

ベンチマークとの差異

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注1) ファンドの騰落率は、分配金（税込み）が分配時に再投資されたものとみなして計算したものです。

(注2) 参考指数はブルームバーグ・USコーポレート・ハイ・イールド・インデックス2%イシュー・キャップ+ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index (BB-B) です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、以下のとおり分配を行いました。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項目	第228期	第229期	第230期	第231期	第232期	第233期
	(2023年3月14日 ～2023年4月12日)	(2023年4月13日 ～2023年5月12日)	(2023年5月13日 ～2023年6月12日)	(2023年6月13日 ～2023年7月12日)	(2023年7月13日 ～2023年8月14日)	(2023年8月15日 ～2023年9月12日)
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	(0.461%)	(0.460%)	(0.448%)	(0.444%)	(0.429%)	(0.429%)
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	3,384	3,411	3,441	3,470	3,503	3,534

- 「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。
- 「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

〈当ファンド〉

TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・サステナブル・ボンド・ファンドとAmundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンドの投資比率は今後も現状を維持する予定です。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

〈TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・サステナブル・ボンド・ファンド〉

米国のハイイールド債のспレッドが縮小した水準で推移するなか、社債市場はファンダメンタルズの混乱に脆弱（ぜいじゃく）とみられます。そのため、当ファンドは引き続きディフェンシブな姿勢を維持し、спレッドがより魅力的な銘柄について、個別要因やテーマに基づき選択することに重点を置いています。融資基準の厳格化により、レバレッジ比率の高い借り手に対し、高水準の利回りや担保設定など良好な条件で信用を供与する機会が生じています。当ファンドはこれを活用し、魅力的な水準でエクスポージャーを追加していく方針です。当ファンドは、信用力が高くリセッション（景気後退）に対して耐性を持ち、非循環型の銘柄などを選好しています。

(TCWインベストメント・マネジメント・カンパニー)

〈Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド〉

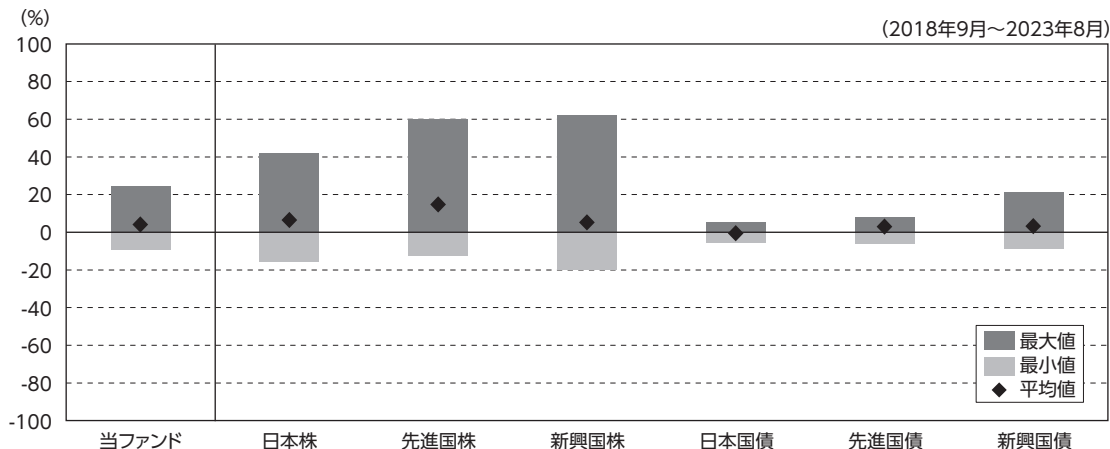
欧州ハイイールド債のспレッドは過去の平均値をやや上回る水準にあり、大幅な縮小は期待できません。しかし、予想デフォルト（債務不履行）率は依然として控えめであり、利回りは歴史的にみて高い水準にあります。よって、欧州ハイイールド債はキャリー取引の観点から魅力的な資産になっていると考えます。その高い利回りは、この先数ヵ月にわたる欧州ハイイールド債市場のパフォーマンスの大きな原動力になるとみています。市場では銘柄固有リスクが増加しているため、当ファンドは銘柄選定に焦点を当てていく方針です。

(アムンディ・アセットマネジメント)

ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2004年3月19日から無期限です。	
運用方針	原則として、米国のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券「TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・サステナブル・ボンド・ファンド」および欧州のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券「Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド」に投資を行い、中長期的な信託財産の成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。原則として、為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	アムンディ・米国・ユーロ高利回り債ファンド	TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・サステナブル・ボンド・ファンド (XJシェアクラス) Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド (毎月分配クラス)
	TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・サステナブル・ボンド・ファンド (XJシェアクラス)	米国のハイイールド債
	Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド (毎月分配クラス)	欧州のハイイールド債
運用方法	<p>① 原則として、米国のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券および欧州のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券に投資します。</p> <p>② 投資信託証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。</p> <p>③ 投資信託証券への投資にあたっては、分散投資を行うことを基本とします。当ファンドの投資対象である投資信託証券において、銘柄分散および企業調査や分析によって個別銘柄の信用リスクを低減するように努めます。</p> <p>④ 投資比率の変更は、委託会社の判断により適宜行われます。</p> <p>⑤ 投資信託証券は、委託会社の判断により、適宜見直しを行います。</p>	
分配方針	毎決算時（年12回、原則毎月12日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます）等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率

(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	4.0	6.5	14.8	5.2	-0.5	2.9	3.2
最大値	24.6	42.1	59.8	62.1	5.4	7.9	21.5
最小値	-9.2	-16.0	-12.4	-19.7	-5.5	-6.1	-8.8

(注1) 上記は、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 上記は、2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ・ 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・ 当ファンドは、分配金 (税込み) が分配時に再投資されたものとみなして計算した年間騰落率に基づき計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ・ 騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

2023年9月12日現在

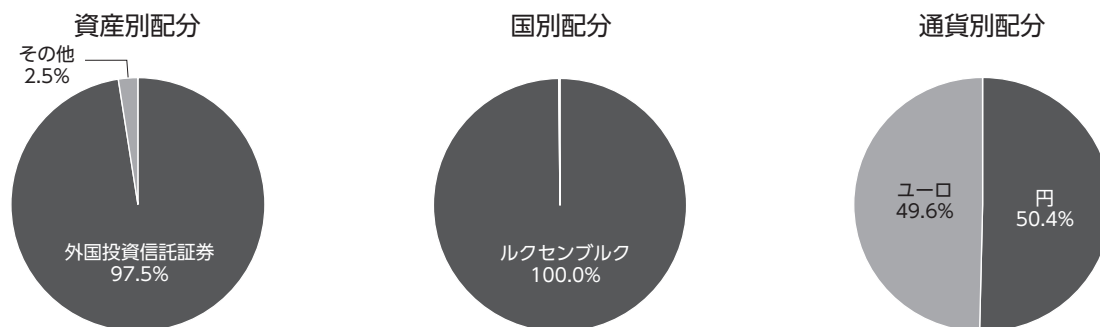
(組入銘柄数：2銘柄)

	銘柄	通貨	比率
1	TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・サステナブル・ボンド・ファンド (XJシェアクラス)	円	49.1%
2	Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド-毎月分配クラス	ユーロ	48.4%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

純資産等

項目	第228期末 2023年4月12日	第229期末 2023年5月12日	第230期末 2023年6月12日	第231期末 2023年7月12日	第232期末 2023年8月14日	第233期末 2023年9月12日
純資産総額	3,569,277,040円	3,560,133,058円	3,634,334,643円	3,647,763,985円	3,765,943,272円	3,706,465,224円
受益権総口数	8,271,032,564口	8,234,189,633口	8,180,162,773口	8,125,315,457口	8,104,968,560口	7,991,273,745口
1万口当たり基準価額	4,315円	4,324円	4,443円	4,489円	4,646円	4,638円

※当作成期間（第228期～第233期）中における追加設定元本額は50,490,713円、同解約元本額は328,017,931円です。

組入ファンドの概要

<TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・サステナブル・ボンド・ファンド>

決算日：2022年9月30日

(計算期間：2021年10月1日～2022年9月30日)

「基準価額の推移」は組入シェアクラスの内容ですが、他の開示情報につきましては、組入ファンド全体の内容を掲載していません。

基準価額の推移 (XJ シェアクラス)



(注) 基準価額は、収益分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

組入上位10銘柄

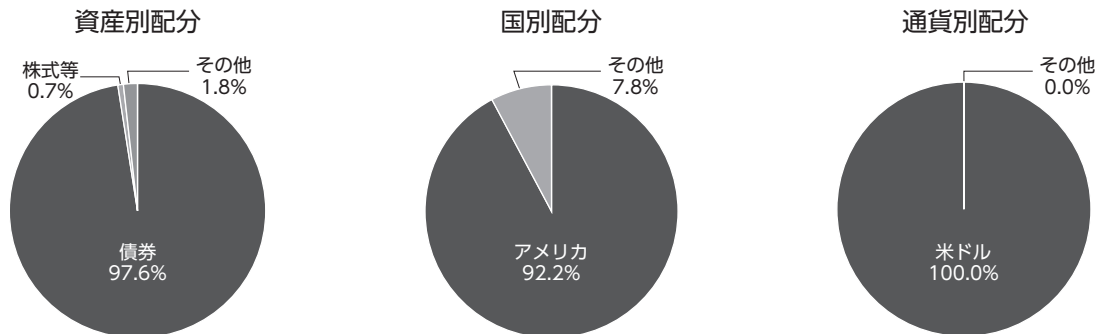
2022年9月30日現在
(組入銘柄数：201銘柄)

	銘柄	通貨	発行国	比率
1	USA 0% 03/11/2022	米ドル	アメリカ	4.0%
2	MOLINA HEALTHCARE INC 3.875% 15/11/2030	米ドル	アメリカ	2.3%
3	YUM BRANDS INC 3.875% 01/11/2023	米ドル	アメリカ	2.2%
4	QWEST CORP 7.25% 15/09/2025	米ドル	アメリカ	1.5%
5	CENTENE CORP 4.25% 15/12/2027	米ドル	アメリカ	1.5%
6	T MOBILE USA INC 2.25% 15/02/2026	米ドル	アメリカ	1.3%
7	POST HOLDINGS INC 5.75% 01/03/2027	米ドル	アメリカ	1.3%
8	GRAPHIC PACKAGING INTERN 3.5% 15/03/2028	米ドル	アメリカ	1.3%
9	FORD MOTOR CREDIT 3.087% 09/01/2023	米ドル	アメリカ	1.3%
10	LEVEL 3 FINANCING INC 3.625% 15/01/2029	米ドル	アメリカ	1.2%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入してあります。

1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

組入ファンドの概要

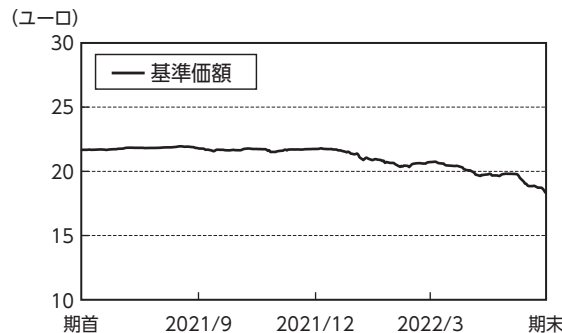
<Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド>

決算日：2022年6月30日

(計算期間：2021年7月1日～2022年6月30日)

「基準価額の推移」は組入シェアクラスの内容ですが、他の開示情報につきましては、組入ファンド全体の内容を掲載して
います。

基準価額の推移 (組入シェアクラス)



(注) 基準価額は、収益分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

組入上位10銘柄

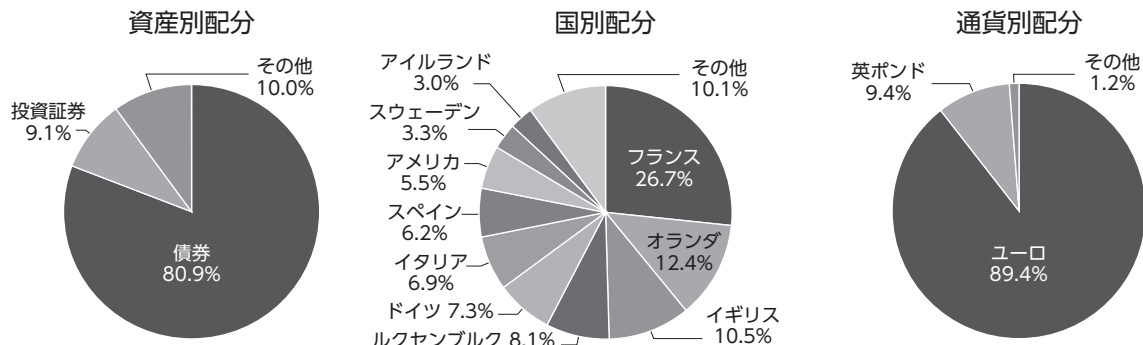
2022年6月30日現在
(組入銘柄数：259銘柄)

	銘柄	通貨	発行国	比率
1	AMUNDI EURO LIQUIDITYSHORT TERM SRI FCP	ユーロ	フランス	4.6%
2	BFT AUREUS ISR FCP	ユーロ	フランス	2.3%
3	VIRGIN MEDIA VENDOR FINACING NOTES III DAC 4.875% 15/07/2028	英ポンド	アイルランド	1.3%
4	LORCA TELECOM BONDCO 4% 18/09/2027	ユーロ	スペイン	1.1%
5	EDF TF/TV PERPETUAL	英ポンド	フランス	1.1%
6	TELEFONICA EUROPE BV VAR PERP	ユーロ	オランダ	1.0%
7	TEVA PHARM FNC NL II 6% 31/01/2025	ユーロ	オランダ	1.0%
8	PI SOLUTIONS EUROPEAN CREDIT CONTINUUM J2 EUR FCP	ユーロ	ルクセンブルク	1.0%
9	AMUNDI MULTI FACTOR OPPORTUNITY CREDIT FCP	ユーロ	フランス	0.8%
10	BANCO BPM SPA VAR 14/01/2031	ユーロ	イタリア	0.8%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

• 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXの指数値およびTOPIXにかかる標章または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXにかかる標章または商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P X により提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても J P X は責任を負いません。

• MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社 (以下「NFRC」という。) が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利はNFRCに帰属します。

• FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

• JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント